

川口市立戸塚北小学校



(学校公開日 6月14日)

戸塚北小学校では

「自分の思いを友達に伝えることができる児童の育成」をテーマに研究し、各学年で様々な内容項目について授業を行いました。

各学年の授業の様子



自分の思いを友達に伝えたい
くなるような授業展開や発
問の工夫をしました。



発問
「どちらの部屋が気持ちが
いいと感じる？そう思った
わけを考えてみよう。」

1年生 A 節度、節制 「あとかたづけ」

児童
「すっきりしている」
「使いやすいから」
「物も気持ちも大切に
できた」



発問
「びよんたさんがくまおじさ
んに本当のことを言わなかつ
たのはどうしてだろう。」

2年生 C 公正、公平、社会正義 「三びきは友だち」

児童
「びよんたさん
は、ほんきちさん
よりわんたさんが
大事。」

身の回りが片付いてい
るときと散らかってい
るときを比較して、身
の回りを整えて生活す
ることのよさを考えら
れるよう工夫しました。



えこひいきをすることは、周り
のみんなが悲しい気持ちにな
ることに気づき、自分の好き嫌
いとらわれず接することの
大切さについて考えを深めら
れるように工夫しました。



板書の構造を工夫したり、ア
ンケートを可視化したりする
ことによって、児童がより考え
を深められるように工夫しまし
た。

3年生 C 家族愛、家庭生活の充実 「お母さんのせいきゅう書」

児童「お母さんの気持ち
を考えてなかったな。」
「自分のことばかりで
家族やお母さんのこと
を考えなかった。」



様々な児童が自分の思いを伝
えられるように支援をし、学級全
体で規則とは何かを考えられる
ような授業展開にしました。

4年生 B 相互理解、寛容 「ちこく」

児童「相手の話
をよく聞く。」
「相手の気持ち
を受け止め、
失敗を許すこ
と。」

発問
「お母さんからの請求書を読
んだだけ目か涙で
いっぱいになったのはどう
してかな。」



発問
「分かり合い、互いに気持ち
よく生活するためには、
どんなことが大切かな。」



振り返りの視点を明確に
し、これまでの自分や今日
の気づき、違う立場を受け
入れることについて考えら
れるようにしました。



児童「自分のことば
かりにならず、冷静
になって相手と向き
合うことが大切。」



「考え、議論する道徳」
の充実に向けて、児童が自
分の思いを表現しやすいよ
うに実態に合わせて発問を
工夫しました。

5年生 B 相互理解、寛容 「すれちがい」

発問
「二人が、元のように仲良
くするには、どのような思
いを大切にしていけばいい
かな。」



振り返りの発問
「毎日同じリズムで生活
するためには、どんなこ
とに気を付けたらいいで
すか。」

6年生 A 節度、節制 「カスミと携帯電話」

児童「自分の欲求だ
けではなく、周りへ
の迷惑や自分の生
活、健康を考える。」
「事前にルールを決
めて、それを守って
いこうという思いを
持ち続けること。」

